

緑2 独立防災隊ニュース 回覧

第113号 2022年(令和4年)4月18日発行 発行人 隊長：中村 修治 編集人 広報部長：福澤 祥二

令和4年度 第1回 定例会 4月10日(日) 19:00～ 自治会館

- ・平田自治会長にご出席頂き、中村隊長より中止となった、令和3年度防災隊定期総会に代わる書面決議の報告あり。
⇒ 隊員56名中32名 表決書(全て賛成)提出にて承認
- ・4月1日付主な人事：石澤防災部長兼消火救助部長兼書記、萩野副隊長兼書記、岩本副隊長兼書記
- ・5月15日(日)開催 第14回 緑2防災訓練 打合わせ
⇒ コロナ禍により2年連続中止、3年振り開催予定
- ・5月1日(日) 8:30～ 機器点検・放水訓練
- ・5月7日(土) 定例会 19:00～ ⇒ 開催日変更



挨拶する平田自治会長

執行部会を原則毎月第1日曜日(機器点検・放水訓練終了後)開催する事になりました。

⇒ 執行部会委員の役員のうち、成年部隊員(現役世代)が半数の6名になっています。



中村隊長



岩本副隊長兼書記



萩野副隊長兼書記



石上企画業務部長



宮澤総務

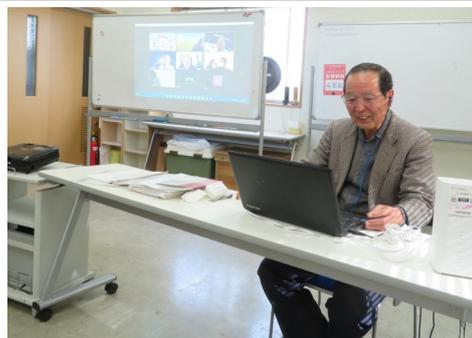


太田会計

「地域防災ドローン」勉強会 4月2日(土) 14:00～ ふれあいセンター

今回で9回(会議として10回)目最後の「地域防災ドローン」の勉強会が、ふれあいセンター会場及びズームによるリモートでの参加者10名によって開催されました。

堀口会長より、「一般社団法人 地域防災ドローン・相模原の登記について」「事業計画について」「勉強会の会員の皆様へ個人正会員入会のお願い」の講演と質疑応答が行われました。



講演中の堀口会長

一般社団法人 地域防災ドローン・相模原 (SPAD)

なぜ一般社団法人なのか

我々は災害時に地域の担い手として、防災組織の末端に位置します。現場の最先端にあり、住民とは日頃から接点もあり、地域の情報を把握し、熟知しています。我々はドローンを災害時に地域に飛行させることにより、いち早く減災の行動をとることが可能です。勉強会を越え、我々の必要性をアピールするため、精神の基本とする「自分たちのまちは自分たちで守る」事を示すため、我々は認知される公式な組織、一般社団法人を作る事といたしました。

今回の一般社団法人化は内外に新しい地域防災のあり方を示唆するものと思われまます。正に画期的な事と思っています。

堀口会長の講演画面より

第9回勉強会(最終回) 長い間ご苦勞様でした

平成4年4月2日(土)14:00～

ふれあいセンター会議室

ズーム会議

作成 JAXAの相模原 宇宙(そら)防災を考える会
会長 堀口 眞

堀口会長の講演画面より

防災まめ知識

デジタル簡易無線局(登録局)の使用方法(1)

●デジタル簡易無線局(登録局)とは? : デジタル簡易無線局(登録局)は、平成20年8月に制度化された、従来の免許局と違い簡単な手続きで使用できる新しいタイプの簡易無線局です。

●防災隊での運用: 平成24年10月、光が丘地区の6自治会が最初に購入し、現在では各防災隊合計100台以上が稼働しています。各避難所との情報伝達の他、緑2・防災隊では、D級ポンプの指揮者と機関員の伝達や町内の被害状況報告にも使用しています。



デジタル簡易無線機